

## 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

2022年3月24日

放課後等デイサービス

事業所名： ZENIBAKO Brave

保護者等数 1名（児童数1名） 回収数1 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者からの ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか		100%				放課後等デイサービス用のスペースに関しては、学習用の机と椅子が場所をとっていた。学習机をちゃぶ台に変更し椅子を排除したことで、学習に適した落ち着いた環境に留意した。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか				100%		職員配置について、必要基準に対して適正。専門性について、質の向上のため定期開催される外部研修への参加や内部研修を開催している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					環境や配慮についての見落としやより良い改善点がないか、常に協議しタイムリーな対策を図る。現状掲示物や足マークなど、目に見える情報からの支援を行なっている。利用状況や特性に応じて、必要と判断した場合に室内配慮を整備することで、常に全利用者に対して分かりやすく指導しやすい環境設定を意図している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	100%					午前利用後と午後利用後の計2回、毎日の清掃と消毒を実施している。利用者がのびのびとした環境で遊び過ごせるよう、室内設備等の配置を替え、より分かりやすく広い空間を確保する。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%					係機関との連携を深め、連携シートの活用をして行き、現状維持で継続する。一部関係機関においては、頻繁な連携が困難であるため、今後どういった形で関わっていくか検討する。
	6	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	100%					日会議・療育会議で振り返りと次の一手を明確にしていく。
	7	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					設定療育・自由選択療育の2パターンに分け、担当振り分けをして活動している。
	8	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				100%		行事によっては今後検討していくが、1日の提供時間が短いこと、コロナ禍により外部との不急の接触を避けるため、事業所内提供を中心に活動していく。
保護者 への	9	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					現状維持で継続
	10	保護者に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか				100%		サービス提供記録項目に（ペアレントトレーニング）要素を取り入れている。その他個々の成長や課題、保護者様との連携のため随時取り込み活用したい。
	11	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					サービス提供記録・LINEを最大限に活用し、継続して情報共有を意図していきたい。
	12	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					サービス提供記録・LINE・通話・支援会議等を通し、継続して関わっていく。

説明等	13	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の連携が支援されているか（事業所としてはコロナを考慮し今後要検討）				100%		コロナの状況をみてアンケートを取る。時期調整や父母会内容のご案内についてはアンケート集計結果を基にお知らせ予定。	
	14	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					その日の相談はその日のうちに協議、内容によっては期日を設定して返答・解決することの徹底を今後も継続していき、子どもと保護者の負担を軽減していく。	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		保護者からの ご意見	ご意見を踏まえた対応
	15	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%						現状維持で継続する。
	16	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%						年2回のお便り、LINEでの情報共有・月1の活動カレンダーは次年度も継続して実施。年度始めに年間行事予定を配布し、タイムリーな情報提供に努める。特段回答を必要としないお知らせについては、今後PDFでの伝達を取り入れていきたい。
	17	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%						利用者に関するデータや書類は事業所2階の保管庫での保管・持ち出し厳禁、やりとりは全て事業所専用携帯にて行い、個人が特定されるものが外に出ない配慮を継続していく。事業所ファイルの取り扱いについて、再度職員間での認識を統一し、個人物を扱うことの重要性の意識を高めていきたい。
	非常時等の対応	18	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100%					
19		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	100%						事業所として年2回以上、災害を想定した訓練を実施している。次年度も年間行事予定表での時期開示と、その都度LINEにて実施案内と様子の共有を予定。
満足度	20	子どもは通所を楽しみにしているか	100%						
	21	事業所の支援に満足しているか	100%						日々のご理解とご協力に感謝申し上げます。今後ともよろしくご願い申し上げます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

2022年3月24日

児童発達支援

事業所名： ZFNIBAKO Brave

保護者等数 5名（児童数5名） 回収数5 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者様からの ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	60%	40%			動画だけでは判断できない	児童定員数1日10名に対しての必要面積・設備の確保、活動ごとのスペース分けを取り入れている。動画で判断しかねる部分の不安軽減のため、個別支援会議や父母交流会等で保護者様にお願いいただく機会を通して、事業所の様子をご覧いただける機会を作りたい。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	80%			20%		職員配置について、必要基準に対して適正である。専門性について、定期開催される外部研修への参加、内部研修の実施によりスキル・知識等の向上を図っている。今後も継続していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	20%				環境や配慮についての見落としやより良い改善点がないか、常に協議しタイムリーな対策を図る。現状として掲示物や定マークなど、目に見える情報からの支援を行っている。利用状況や特性に応じて、必要と判断した場合に室内配線を整備することで、常に全利用者に対して分かりやすく指差ししやすい環境設定を意識している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	80%	20%				午前利用後と午後利用後の計2回、毎日の清掃と消毒を実施している。利用者がのびのびとした環境で遊び過ごせるよう、室内設備等の配置を替え、より分かりやすく広い空間を確保する。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					関係機関との連携を深め、連携シートの活用をして行き、現状維持で継続する。一部関係機関においては、頻繁な連携が困難であるため、今後どういった形で関わっていくか検討する。
	6	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					サービス提供記録やモニタリングなどを通して、保護者及び関係機関との情報共有をこまめに行いながら、現状維持で継続する。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					日会議・療育会議で振り返りと次の一手を明確にしている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					設定療育・自由選択療育の2パターンに分け、担当振り分けをして活動している。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	60%			40%		行事によっては今後検討していくが、1日の提供時間が短いことと、コロナ禍により外部との不急の接触を避けるため、事業所内提供を中心に活動していく。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					現状維持で継続する。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%					現状維持で継続する。
	12	保護者に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	80%			20%		サービス提供記録項目に（ペアレントトレーニング）要素を取り入れている。その他個々の成長や課題に応じて都度支援道具や資料などを提供していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					サービス提供記録・LINEを最大限に活用し、継続して情報共有を意識していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者様からの ご意見	ご意見を踏まえた対応
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					サービス提供記録・LINE・通話・支援会議等を通し、継続して関わっていく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の連携が支援されているか	40%	20%	20%	20%	今後コロナが落ち着いたら開催されることを楽しみにしています	コロナ感染症鎮静化の頃合いをみて、アンケートによる希望を募り、時期調整や父母会内容のご案内をさせていただき予定。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					その日の相談はその日のうちに協議、内容によっては期日を設けて返答・解決することの徹底を今後も継続していき、子どもと保護者の負担を軽減していく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					現状維持で継続する。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%					年2回のお便り、LINEでの情報共有・月1の活動カレンダーは次年度も継続して実施。年度始めに年間行事予定を配布し、タイムリーな情報提供に努める。特段回答を必要としないお知らせについては、今後PDFでの伝達を取り入れていきたい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%					利用者に関するデータや書類は事業所2階の保管棚での保管・持ち出し厳禁、やりとりは全て事業所専用携帯で行い、個人が特定されるものが外に出ない配慮を継続していく。事業所ファイルの取り扱いについて、再度職員間での認識を統一し、個人物を扱うことの重要性の意識を高めていきたい。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100%					各種マニュアルを備えており、職員間での共有・併せて内部研修にて事例と対応についての共有確認を実施している。安心して事業所利用を頂けるよう、保護者に対して今後、必要に応じて書面もしくはPDF伝達にて、事業所に関する情報提供を積極的に行っていく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	100%					事業所として年2回以上、災害を想定した訓練を実施している。次年度も年間行事予定表での時期開示と、その都度LINEにて実施案内と様子の共有を予定。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				毎日楽しく通っています	子どもたちが「楽しかった。明日も行きたい」と思える事を方針としている。危険なことや注意が必要なことは強調して伝えつつも、「どうすれば楽しく実践できそうか」を考え関わっていく。子ども・保護者の意見を真摯に受け止め、頂いたご意見をもとに都度対応し、より良い療育を目指していく所存。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%					いつもご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。